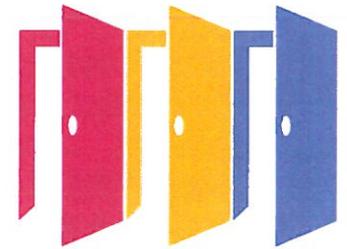




さのや金物 (画: 清水喜輝氏)



ロータリーは  
機会の  
扉を開く

# WEEKLY REPORT

No.2988 2020年7月6日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内  
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30  
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室  
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

## 四つのテスト

The Four-Way Test  
 言行はこれに照らしてから  
 Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか  
Is it the TRUTH?
2. みんなに公平か  
Is it FAIR to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか  
Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP?
4. みんなのためになるかどうか  
Will it be BENEFICIAL to all concerned?

### ★ 点 鐘

磯崎 孝会長

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会: 菊池眞一郎 SAA

### ★ クラブ協議会

新年度を迎えて

磯崎 孝会長

### ★ 出席報告

岡田 勝委員長  
 会員数 24名  
 出席者 14名  
 欠席者 10名  
 メーキャップ 2名  
 出席率 66.6%

### ★ 委員会報告

ニコニコボックス委員会

岡田 勝委員長

磯崎孝新会長…本年度よろしくお願ひいたします。

川崎通夫新幹事…一年間よろしくお願ひいたします。

黒澤利勝会員…23年ぶりにゴルフを始めました。

根本隆会員…80歳記念ありがとうございました。

遊座文郎会員 藤咲久光会員 常盤昌敬会員  
 菊池眞一郎会員 安達良司会員 川崎誠会員 根本博会員



一年間よろしくお願ひいたします。

年度の方針の前に、前第2分区ガバナー補佐の飛田幸男さん(大洗RC)からメッセージを戴きましたのでご披露したいと思います。「3月2日の幹事会中止に始まり、最後のガバナー補佐活動はほとんど出来ませんでした。本来ならば効果的なクラブ強化の戦略計画についても指導的立場にありながら、役不足のまま任期を終えることに大変申し訳なく思います。私にとって人間味のある中村ガバナーと、他の地区のガバナー補佐との出会いが、私の成長に大きく影響したと勝手ながら思っております。また活動を支援いただきました大洗クラ

ブの素晴らしいメンバーにも大変感謝しております。新型コロナウイルス感染症は今、正に猛威を振るっており、地区大会をも中止に追い込みました。これも残念なことではありますが、思い出の一つになればと思います。第2・第3派も予測される中、お体に無理のない活動をお願いし、退任の挨拶といたします。」

本日お手元に「お茶菓子」が配られていると思いますが、飛田ガバナー補佐からでございます。皆様にくれぐれもよろしくとのことです。

それから二番目の報告は例会ですが、今月から事務局で案内と月ごとの出欠をFAXでお送りしています。現在の状況では例会場が目まぐるしく変わる場合が予想されます。今年是这样い形でやってみようということです。また常陽銀行さんに会場が戻ることもあると思います。幹事を飛び越して会長のお願い、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

さて、東京では知事選挙が行われ話題となっております。350万票余りを取りまして小池さんが再選されましたが、第2位の候補が80万票ほどということですので「大差」といって差し支えのないほどの大勝利でした。一方で連日100名を越えるコロナウイルスの感染者が報告されております。大変残念な数字かと思いますが、引き続き備えを十分にしなければならぬと思います。また直近の時事として熊本県でまたも大きな水害があり、22名の方がお亡くなりになられたということです。これもまた災害ですので「しょうがない」思う一方で「何とかならなかったのか」という思いもあり、これもまた残念なニュースでした。

本題に入りますが、会長の話と言ってもそんなに長い話は出来ませんので、セミナーで頂いた資料から抜粋してご紹介いたします。

本年度のホルガー・クナーク国際ロータリー会長が、このように述べております。「ロータリーが唯一無二で、世界とシェアするに値する存在であるのはなぜでしょうか。皆さんご自身や奉仕の受益者に、どのような比類ない機会への扉を開くことができるでしょうか。

私たちは人との交わりを楽しみます。世界のどこへ行こうと、出会ったロータリアンと親友になり、もっと一緒に時間を過ごしたいと感じます。私たちは、異なる環境、異なる世代、言葉、文化をもっています。ロータリーでの過ごし方でさえ、国によって、またクラブによって異なります。この多様性こそが、ロータリーを素晴らしいものとしているのです。

私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情でつながり、「四つのテスト」を信じています。ロータリーを

経験する方法はいたるところで異なりますが、「四つのテスト」は誰にとっても同じです。」

このようにクナーク会長は挨拶の最初に「四つのテスト」を掲げ、その重要性を説いています。我々ロータリアンにとって「四つのテスト」というのは基軸であります。その重要性を第一番に訴えております。

また第2820地区の池田正純がバナーは会長エレクトセミナーの挨拶の中で、「クラブの会員基盤を維持、増大させる・地域社会及び他国の地域社会及び他国の地域社会のニーズに対応するようなプロジェクトを実行し成功させる・寄付及びプログラムに参加することでロータリー財団を支援する・クラブレベルを超えてロータリーに奉仕する能力のある指揮者を育成する・等などの項目です。各クラブのロータリアンの協力を得て、より充実したロータリー活動の推進を願ひまして共にがんばっていきたいと思います。ご協力を心よりお願ひ申し上げます。」と申されました。

更に「ロータリーとは、クラブに入会するというだけではなく、「無限の機会の招待である」ロータリーの成長に対するマーク・マローニー会長の決意を受け継いでいくことを誇りに思いますが、数字を掲げて成長を求めることはいたしません。これまで数字を掲げて成長を求めるたびに失敗に終わってきたからです。数字にこだわる代わりに有機的、かつ持続可能な形でいかにロータリーを成長させるかを考えて下さい」と話されました。「この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです」と結論づけております。その具体的策として次のことを挙げました。

- 新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります。どの新会員も、私たちが少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学ぶことで、私たちはより強くなります。
- ロータリーの行動計画はクラブの進化を導く羅針盤です。全クラブが少なくとも年1回、戦略計画会議を開くことを勧めました。この会議で、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきです。
- リーダー職にもっと多くの女性が就くこと、クラブの結成と運営にローターアクターが不可欠な役割を果たすこと、ロータリー会員であることの意味を考え直すこと、若い人たちに新クラブの設計者になってもらうことを提

唱します。

- 新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません。自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクターたち自らに決めてもらおうではありませんか。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです。
- ロータリー会員が変化を受け入れることの必要性を強調した上で、「時間は私たちのためにスローダウンしてくれない」「私たちは急速な変化に負けません」

## 2020-21 年度 国際ロータリーの目標

### ◇優先項目1：人々が手を取り合うのを促す

1. 地区は新しい革新的クラブモデルを作る。
2. 既存会員を維持しつつ、さらに入会を促進する。
3. 新しい会員を注意して選び、新会員がクラブに合い、又新会員の期待に応えるクラブであることを確認する。
4. 女性会員や40歳未満の会員の入会、またローターアクターのロータリークラブへの入会を促し、会員増加を図る。
5. インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員間および他のロータリー活動の参加者間の積極的参加・協力を強化する。

### ◇優先項目2：行動する

1. ポリオ撲滅活動においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える。
2. 地区財団活動資金(DDF)を十分に活用することで、地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの資金とし、地域社会および海外でのプロジェクトを増やす。
3. クラブは毎年少なくとも1回の戦略会議を開く。 です。

また池田正純ガバナーは挨拶の中で「私は次年度のローガンを「ロータリアンのイノベーション・磨こう人間力!」とさせていただきます。デジタル革命がもたらした様々な打撃は予想をはるかに超えています。これまでも直面していましたが、十分な対応がとられていません。時間は私たちのためにスローダウンしてくれません。ロータリーは変わらなければなりません。必ず変わります。古き良きロータリーでなくなったという仲間がいても変わらなければならないのです。ポール・ハリスが言ったように、時には革命的でなければなりません。変わるべき時はまさに今なのです。課題に立

ち向かい、若い人に扉を開いて下さい。今般、特に若い人は環境問題に敏感です。更に焦点を当てることにより、断固たる行動をとりながら環境問題にも取り組んでいきましょう。」と訴えました。

### 【地区ローガン】

「ロータリーのイノベーション・磨こう人間力!」

### 【地区目標】

環境問題の強化、ロータリーの組織的変革

#### 1. 環境問題

- ① プラスチック問題
- ② CO<sub>2</sub>削減問題
- ③ その他

#### 2. ロータリーの組織的変革

- ① 会員増強
  - ・各クラブとも会員の純増を目指す
  - ・若い会員や女性会員の積極的増強
- ② 新クラブ、Eクラブ、衛星クラブ結成に努力する。
- ③ 戦略計画により、クラブの強化を活性化
- ④ My ROTARY への登録の推進、ロータリークラブセントラルなどの有効活用
- ⑤ ロータリーカード(地区、地区委員会、クラブ)の作成推進

#### 3. 人道的奉仕の重点化と増加

- ① インターアクター、ローターアクターがロータリークラブや地域社会と一緒に奉仕プロジェクトに参加する
- ② ポリオプラス、年次基金を増やす
- ③ 地区補助金、グローバル補助金を利用した地元や海外での効果的な活動の推進

#### 4. 公共イメージと認知度の向上

- ① 「ロータリーデー」を各クラブで開催し、ロータリーイメージの向上を図る
- ② 地区ホームページ、クラブホームページの活用の推進。

#### 5. 青少年への支援と学友連携の強化

#### 6. ロータリー財団と米山奨学会への支援

- ① ロータリー財団1人 150ドル以上(年次寄付 130ドル・ポリオ 20ドル)  
ベネファクター 各クラブ1名以上
- ② 米山奨学会1人 25,000円以上(普通寄付 5,000円・特別寄付 20,000円)

これらを掲げておられます。

最後に本年度のロータリー賞として

#### 1. ロータリー賞

- (1) ロータリークラブ対象のロータリー賞
- (2) ローターアクトクラブ対象のロータリー賞
- (3) インターアクトクラブ対象のロータリー賞

#### 2. ロータリー会長特別賞

- (1) ロータリークラブ対象のロータリー会長特別賞

(2) ローターアクトクラブ対象のロータリー  
会長特別賞

(3) インターアクトクラブ対象のロータリー  
会長特別賞

の紹介がございました。

以上、頂いた資料を棒読みのご紹介で、ちょっと忙しい感じでしたが、池田ガバナーが申された本年度の方針をご紹介しました。一年間でこれが全部出来れば素晴らしいことなのでしょうが、なかなかそうも行かないもので、この今年の目標にできるだけ近づけるような活動が出来ますよう皆さんのご協力をよろしくお願ひしたいともいます。一つ一つご理解を頂きながらこの一年間進めて参りたいと思います。

幹事報告並びに新年度を迎えて

川崎通夫幹事



今年一年間、磯崎会長の下、一生懸命皆さんのために頑張っていきたいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。

まず幹事報告として、本日配布した例会メモの一番下に7月13日のクラブ協議会、小松満第2分区ガバナー補佐が挨拶において下さるのですが、挨拶に30分ぐらいかかるので、予定していた各委員会の事業計画発表を次回に送りたいと思います。20日の金子会員の卓話は9月7日の「ロータリーの友月間」の際によろしくお願ひしたいと思います。

先日6月27日に会長・幹事会があり、各地区の継続活動の方針報告ということでした。当クラブの継続事業としては10月に行われております知的障がい者との親睦ボウリング大会、11月の湊公園はまぎく剪定・清掃作業、ファミリーコラボへのロータリー文庫への図書贈呈を磯崎会長より報告して頂きました。昨年度行われました、介護事業所へのマスクの贈呈は「継続」事業とは考えてございませんので、今回は入れませんでした。

その会長幹事会の中で、2点ほど面白いと言いますか、これからはこうなっていくのかなと思ったことがありましたのでご紹介したい

と思います。

一つ目は「地区のビジョンに向けた優先事項」という中に、「公共イメージと認知度の向上」というのがあります。これについては「ライオンズ・クラブに見習う点があるのではないか」と言う話がありました。二つ目として「重点施策と目標」の中に「クラブの多様性と柔軟性の増進」ということで「クラブ細則改正と見直しへの協力」という項目があります。今まで「メーキャップ」は当該例会の前後2週間ということでしたが、それが一年間有効ということになりました。そういった話がありました。これらから見てもかなり変わってきていると思います。具体的な話は来週、小松ガバナー補佐の方からあると思います。

あと本来は一番最初に報告しなければならなかったことですが、本年当クラブは65周年を迎えます。が、この事業につきましては、11月に記念事業を予定するといった、本当に大まかなこと以外はまだ何も決まっておられません。65周年ですので60周年の時とは違い、クラブからどこかに何かを寄贈するぐらいのことで良いのではないかとはいっています。しかしながら、あまりに直前になって間に合わせるような状況にはしたくありませんので、この7月から人員を決めて、事業を練っていこうと思います。何をやったらいいのかということでも前の55周年の事業を見たところ、那珂湊駅の看板を寄贈しております。今回はコロナの影響もあったので多少出遅れてはいますが、早急にやっていきたいと思っています。そうしますと時期的にはやはり11月頃が良いのではないかと思います。65周年ですのでわざわざ会を催すのも何ですので「3クラブ合同例会」にぶつけてはどうかという意見もあります。また丁度11月2日には例会が3000回になります。因みに今年の合同例会、主催は当クラブとなっておりますので、それも絡めて出来ればと思っております。まずは理事会で方針を出したいと思しますので、その際はご協力よろしくお願ひいたします。

報告は以上です。再度になりますが、磯崎会長をしっかり支えていきながら、頑張っていきたいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。